

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

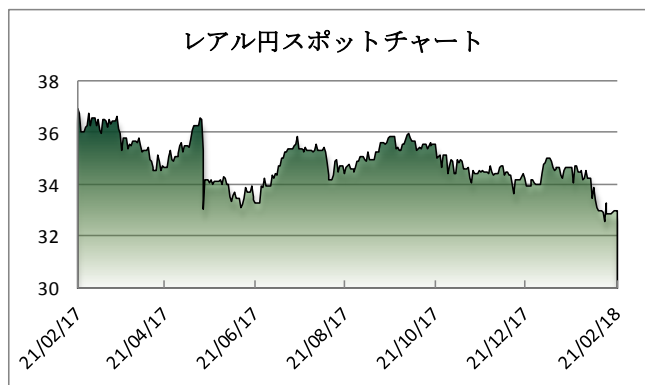
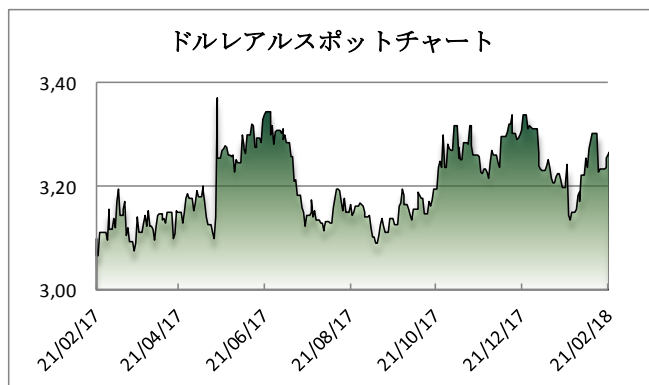
昨日のドルレアルスポット相場は、年金改革法案の先送りに加え、昨日公表されたFOMC議事録(1月30-31日開催分)を受けてグローバルにドルが強くなった影響もあり、ドル高レアル安が引けにかけて進行。一時3.27台に迫る時間帯も見られた。議事録では、当局者が米国経済の見通しに前向きな姿勢を強めていることが窺える。①2018年の経済成長ペースは中長期的に持続可能と当局が見込むペースを上回り、労働市場の状況は一層力強さを増すと予想される、②幾人かの参加者は短期的な経済成長を昨年12月会合時から上方修正、③経済成長見通しの強まりでさらなる漸進的な政策引き締めが適切になる可能性が高まった、などの見解が記述されている。また、先月会合時後に公表された声明では、政策金利の「さらなる」斬新的な引き上げを見込む、と、「さらなる」との文言が付け加えられたが、これについては、「メンバーらが、短期的な経済見通しの強まりにより、FF金利の斬新的な上向きの軌道が適切になる可能性が一段と高まったとの認識で一致した」と説明されている。

米格付会社Fitchは20日、Moody'sに続いて、「年金法案の先送りが同国格付にとって下押し圧力となる」との見解を公表。引き続き財政再建策の行方が格付に大きな影響を与える、とのスタンスを維持している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	2月20日	2月21日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,2533	3,2662	0,40%	2,19%	3,1210	3,3182
	対円	JPY	33,00	32,97	-0,09%	-4,91%	35,13	32,32
	対ユーロ	BRL	4,0131	4,0140	0,02%	2,67%	3,8531	4,0785
円	対ドル	JPY	107,33	107,78	0,42%	-2,70%	105,55	113,39
	対ユーロ	JPY	132,41	132,39	-0,02%	-2,26%	131,58	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	85.804	86.052	0,29%	5,95%	87.358	76.403
CDS Brazil 5yrs		bps	156,40	158,27	1,20%	6,28%	188,62	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	9,84	9,87	0,30%	-0,36%	10,07	9,68
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,58	6,55	-0,38%	-5,28%	6,94	6,55
3 Months US Dollar Libor		%	1,9039	1,9039	0,00%	9,14%	1,9039	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	193,67	194,17	0,26%	-0,68%	201,19	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。